

## 第3回 松江城検定試験

# 問 題 用 紙

### 注 意 事 項

1. 解答用紙への記入は、黒鉛筆を使用してください。
2. 誤って記入したときは、消しゴムで消してください。
3. 解答欄は、各問題につき1つのみ解答してください。
4. 問題は、全部で50問で、配点は1問につき1点です。
5. 解答用紙は、試験終了後に回収いたします。

(平成31年2月2日)

松 江 商 工 会 議 所

1

次の記述について、正しいものを(ア)～(エ)の中から選びなさい。

- (問1) 「松江開府の祖」といわれる堀尾吉晴の銅像が建っているのはどこですか  
 (ア) 松江城本丸 (イ) 松江城二之丸下ノ段  
 (ウ) 松江城大手前 (エ) 松江城三之丸跡
- (問2) 堀尾吉晴の生まれはどこ国ですか  
 (ア) 近江国 (イ) 美濃国 (ウ) 尾張国 (エ) 三河国
- (問3) 関ヶ原の合戦の功で出雲・隠岐24万石の領主となった堀尾忠氏が、父吉晴とともに入った月山富田城は現在のどこにありましたか  
 (ア) 安来市荒島町 (イ) 安来市伯太町 (ウ) 安来市赤江町 (エ) 安来市広瀬町
- (問4) 堀尾父子は富田からの移城を考えますが、その理由として正しくないのはどれですか。  
 (ア) 風水上よくない (イ) 土地が狭小である  
 (ウ) 交通の便がよくない (エ) 防衛に適さない
- (問5) 城地の選定についての伝承が書かれている本はどれですか。  
 (ア) 堀尾古記 (イ) 千鳥城取立古説 (ウ) 雲陽軍実記 (エ) 雲陽秘事記
- (問6) 堀尾吉晴が城地としてふさわしいと主張したのはどこですか。  
 (ア) 嵩山 (イ) 荒隈山 (ウ) 朝日山 (エ) 茶臼山
- (問7) 堀尾忠氏が城地としてふさわしいと主張したのはどこですか。  
 (ア) 真山 (イ) 白鹿山 (ウ) 和久羅山 (エ) 亀田山
- (問8) 松江城の縄張りをしたとされる小瀬甫庵おぜはあんの著書はどれですか。  
 (ア) 太平記 (イ) 太閤記 (ウ) 信長公記 (エ) 陰徳太平記
- (問9) 松江城築城に着手した年はいつですか。  
 (ア) 1605(慶長10)年 (イ) 1606(慶長11)年  
 (ウ) 1607(慶長12)年 (エ) 1608(慶長13)年
- (問10) 松江城が完成した時の藩主は誰ですか。  
 (ア) 堀尾吉晴 (イ) 堀尾忠氏 (ウ) 堀尾忠晴 (エ) 堀尾泰晴
- (問11) 堀尾氏は嗣子がないために改易された。次に松江藩主となったのは誰ですか。  
 (ア) 京極高次 (イ) 京極忠高 (ウ) 京極高政 (エ) 京極高和
- (問12) 最後の城主となった松平定安は、松江藩松平氏の祖直政から何代目ですか。  
 (ア) 10代 (イ) 11代 (ウ) 13代 (エ) 15代

2

次の文章を読み、( )に入る語句を(ア)～(エ)から選びなさい。

松江城は(問13)で、天守の類型は(問14)、構造は(問15)で(問16)地下一階付の桃山建築の様式を伝えている。

- (問13) (ア) 平城 (イ) 平山城 (ウ) 山城 (エ) 海城  
 (問14) (ア) 独立式 (イ) 複合式 (ウ) 連結式 (エ) 連立式  
 (問15) (ア) 回廊型 (イ) 高層型 (ウ) 層塔型 (エ) 望楼型  
 (問16) (ア) 三重三階 (イ) 三重四階 (ウ) 四重五階 (エ) 五重六階

全国に現存する(問17)天守のうち、松江城天守は建築年代で(問18)番目、高さは22.43mで(問19)番目、一階床面積は447,23㎡で(問20)番目の偉容を誇っている。

- (問17) (ア) 12 (イ) 13 (ウ) 14 (エ) 15  
 (問18) (ア) 3 (イ) 4 (ウ) 5 (エ) 6  
 (問19) (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4 (エ) 5  
 (問20) (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4 (エ) 5

天守は96本の(問21)を効果的に配置し、130本に(問22)を施している。また、階段は(問23)を使用し、地階の(問24)などは、松江城を代表する特徴である。

- (問21) (ア) 心柱しん (イ) 通し柱 (ウ) 側柱がわ (エ) 角柱かく  
 (問22) (ア) 包板つつみ (イ) 継手つぎ (ウ) 寄木柱よせぎ (エ) 貫穴ぬきあな  
 (問23) (ア) 杉材 (イ) 松材 (ウ) 桧材 (エ) 桐材  
 (問24) (ア) 倉庫 (イ) 土間 (ウ) 井戸 (エ) 便所

天守の外壁は黒の（問25）を主とし、各重の四面には（問26）を配している。また、防御用として2階の7カ所に（問27）と随所に長方形の（問28）を設けている。

- |       |                                  |                               |                               |                               |
|-------|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| (問25) | (ア) <small>した みいたばり</small> 下見板張 | (イ) <small>てっばんばり</small> 鉄板張 | (ウ) <small>しっくいぬり</small> 漆喰塗 | (エ) <small>なまこ かべ</small> 海鼠壁 |
| (問26) | (ア) <small>かとう</small> 花頭窓       | (イ) <small>れんじ</small> 連子窓    | (ウ) <small>こうし</small> 格子窓    | (エ) <small>つちど</small> 土戸窓    |
| (問27) | (ア) 石打ち台                         | (イ) <small>さま</small> 狭間      | (ウ) 戸袋                        | (エ) 石落とし                      |
| (問28) | (ア) <small>こくち</small> 虎口        | (イ) <small>くるわ</small> 曲輪     | (ウ) <small>やざま</small> 矢狭間    | (エ) 鉄砲狭間                      |

松江城の石垣に、一部加工した（問29）や全面加工した（問30）がある。また、堀尾氏の代表的家紋である（問31）の刻印や、侵入する敵に対して設けた（問32）を見ることができる。

- |       |                               |                             |                               |                                 |
|-------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| (問29) | (ア) <small>さんぎ</small> 算木積み   | (イ) <small>のづら</small> 野面積み | (ウ) <small>うちこみは</small> 打込接ぎ | (エ) <small>きりこみは</small> 切込接ぎ   |
| (問30) | (ア) 算木積み                      | (イ) 野面積み                    | (ウ) 打込接ぎ                      | (エ) 切込接ぎ                        |
| (問31) | (ア) <small>ふんどうもん</small> 分銅紋 | (イ) <small>うるこ</small> 鱗紋   | (ウ) <small>まさかり</small> 鉞紋    | (エ) <small>わちがい</small> 輪違紋     |
| (問32) | (ア) <small>あいよこや</small> 合横矢  | (イ) <small>でずみ</small> 出隅   | (ウ) <small>がんこう</small> 雁行    | (エ) <small>よこやますがた</small> 横矢枡形 |

寛永15年（1638）信濃国松本から（問33）が松江に入封した。この時、大工頭として入城した竹内右兵衛は、天守が傾いていることに気付き、修理したと伝わる。築城からわずか30年である。

藩政の当初は、（問34）の御殿で政務は執られていたが、松平氏になってから（問35）へと政務の中心は移った。

- |       |          |            |          |          |
|-------|----------|------------|----------|----------|
| (問33) | (ア) 堀尾吉晴 | (イ) 京極忠高   | (ウ) 松平直政 | (エ) 松平綱隆 |
| (問34) | (ア) 本丸   | (イ) 二之丸    | (ウ) 三之丸  | (エ) 北之丸  |
| (問35) | (ア) 二之丸  | (イ) 二之丸下ノ段 | (ウ) 三之丸  | (エ) 北之丸  |

3

次の記述について、正しいものを(ア)～(エ)の中から選びなさい。

- (問36) 下記の写真は明治時代の松江城天守ですが、何年頃の状態だとされているでしょうか。  
(ア) 5～7年 (イ) 15～17年 (ウ) 25～27年 (エ) 35年～37年
- (問37) 下記の写真の松江城天守の屋根などが破損した直接的な原因は何だとされていますか。  
(ア) 長年の放置 (イ) 暴風雨 (ウ) 地震 (エ) 落雷
- (問38) 現在の椿谷は城郭名称で何というのでしょうか  
(ア) 後曲輪うしろくるわ (イ) 中曲輪なかくるわ (ウ) 外曲輪そとくるわ (エ) 三之丸
- (問39) 現在島根県庁がある場所は城郭名称では何というのでしょうか  
(ア) 二之丸 (イ) 本丸 (ウ) 北之丸 (エ) 三之丸
- (問40) 現在松江護国神社のある場所は城郭名称では何というのでしょうか  
(ア) 外曲輪そとくるわ (イ) 北之丸 (ウ) 中曲輪なかくるわ (エ) 腰曲輪こしくるわ

※問36、37の写真



## 4

次の文章を下記の語句から選び完成させなさい。

(問A) これまで全国の藩主が領有していた土地・人民を明治2年、朝廷に(問41)したことで、松江城は明治政府陸軍省の所管となった。さらに(問42)の(問43)により、堀尾吉晴が天守を完成させた(問44)から260年間、出雲国主の統治の拠点であった松江城は新政府の手に委ねられた。

- (ア) 慶応4年 (イ) 明治2年 (ウ) 明治3年 (エ) 明治4年 (オ) 明治6年  
 (カ) 慶長5年 (キ) 慶長12年 (ク) 慶長16年 (ケ) 版籍奉還 (コ) 廃城令  
 (サ) 廃藩置県 (シ) 250年 (ス) 260年 (セ) 270年

(問B) 松江市では平成19年から5年間、松江開府(問45)年祭が開催され、かつて国宝であった松江城を再び国宝にする気運が高まり、学術調査、史料調査、市民運動も行われた。そして、学術調査では、二階分の(問46)を用いることで上段の(問47)を分散させ、下の階へ伝える新工法を用いた天守の構造的特徴が明らかになり、さらに平成(問48)年に(問49)二枚が発見されたことで天守完成年が証明された。これらによって松江城は再び平成(問50)年に国宝に指定された。

- (ア) 250 (イ) 300 (ウ) 400 (エ) 24 (オ) 25  
 (カ) 26 (キ) 27 (ク) 通し柱 (ケ) 受け柱 (コ) 管柱  
 (サ) 大黒柱 (シ) 圧力 (ス) 重力 (セ) 浮力 (ソ) 鎮宅祈禱札  
 (タ) 鎮物 (チ) 祈禱札